



みんなで取り組む
千葉の教育

県教委 NEWS

Vol.278

10月号

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話 043-223-4015

令和3年10月発行

アイムポッシブル

I'mPOSSIBLE アワード 県内2校が受賞

東京 2020 パラリンピック閉会式において、共生社会実現につながるパラリンピック教育の実践を行った学校に対して、I'mPOSSIBLE アワード*の表彰が行われました。開催国最優秀賞を木更津市立清見台小学校が、開催国特別賞を県立東金特別支援学校が受賞しました。

*I'mPOSSIBLE アワード：パラリンピック・ムーブメントを通して、インクルーシブな世界の実現に多大な功績を収めた学校とパラリンピアンに贈呈される賞。この賞は、国際パラリンピック委員会が設立し、日本財団パラリンピックサポートセンターが支援を行っている。なお、『I'mPOSSIBLE』には、「不可能 (Impossible) だと思ったことも、ちょっと考えて工夫すればできるようになる (I'm possible)」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージが込められている。



木更津市立清見台小学校の取り組み

バリアフリーについてより具体的・現実的な解決方法を考えるためパラリンピアンと意見交換をしました。



県立東金特別支援学校の取り組み

「オリ・パラ」推進隊は小中学生にボッチャのアドバイスをするなどパラスポーツの楽しさを伝えました。



両校は9月13日(月)にウェブ会議システムを活用して熊谷知事と富塚教育長に表敬訪問を行いました。



木更津市立清見台小学校児童とのオンライン懇談



県立東金特別支援学校生徒とのオンライン懇談

国際パラリンピック委員会公認教材

『I'mPOSSIBLE (アイムポッシブル)』を活用しよう!



パラリンピックの国際的発展を担うアギトス財団が開発した、共生社会への気づきを子どもたちに促す教材です。

座学と実技を含む全 15 授業分のユニットで構成され、小学生版、中学生・高校生版の2タイプの教材パッケージが昨年度までに各学校に送付済みです (一部 web のみ公開)。



記念のシルバークロケットと大会マスコットのぬいぐるみ

お問い合わせ先：教育庁企画管理部教育政策課教育立県推進室 043-223-4177

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス（目次）をクリックすると対象のページへジャンプします。

インデックス(目次)	頁
I'mPOSSIBLE アワード表彰	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
教育委員会会議報告	3
県立定時制高校2校の新たなスタート	4
千葉県高等学校産業教育フェア 千葉県特別支援学校ものづくりフェア	5
中学生・高校生との交流会	6・7
令和2年度 魅力ある県立学校づくり大賞優秀賞受賞校の取り組み	8
千葉県・千葉市不登校サポートセミナー	9
世界アルツハイマー月間に関連した県立図書館の取り組み	10
千葉県立安房南高等学校旧第一校舎写真展・オンライン講演会	11
イベント情報	別冊

松戸国際高校で SDGs 探究活動の成果を発表 (6月28日)

松戸国際高等学校は、平成29年、ユネスコからESD(持続可能な社会づくりの担い手を育む教育) 推進の拠点であるユネスコスクールに認定されました。

今年度は、「SDGs(持続可能な開発目標)を意識した特色ある教育活動の推進」を重点目標に、すべての教育活動をSDGsにおける17の目標に関連づけています。今回、64のグループが、地域・国際社会の課題とその解決策をSDGsの視点から探り、2カ月取り組んだ成果をポスターセッション形式で発表しました。



詳しくは、こちら↓

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2021/210628.html>

県教委 NEWS

各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト：<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール：https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

[県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。\(ここをクリック\)](#)

佐倉南高校

三部制定時制として新たなスタート

県立佐倉南高校は、令和4年度から三部制定時制の課程に移行し、現在の県立佐倉東高校定時制の生徒とともに新しい教育課程でスタートします。三部制定時制の課程では、入学者選抜の出願時に午前部・午後部・夜間部から希望の部に出願することができ、自分のペースや生活リズムに合わせた高校生活を送ることができます。定時制では1日4時間の授業で4年間学びますが、他部履修という制度を使うことで1日6時間の授業を受けることができ、3年間での卒業も可能です。



時間割のイメージ

時 程(予定)	午前部	午後部	夜間部
8:35 ~ 8:50	SHR		
1限 8:50 ~ 9:35	授業時間帯	他部履修	
2限 9:45 ~ 10:30			
10:30 ~ 10:40	休憩	SHR	
3限 10:40 ~ 11:25	授業時間帯	授業時間帯	
4限 11:35 ~ 12:20			
5限 12:20 ~ 13:05			
6限 13:05 ~ 13:50	他部履修	授業時間帯	
7限 14:00 ~ 14:45			
14:45 ~ 15:05	清掃	清掃	
8限 15:05 ~ 15:50		他部履修	他部履修
9限 15:55 ~ 16:40			
夕休み 16:40 ~ 17:25			
10限 17:25 ~ 18:10			授業時間帯
11限 18:15 ~ 19:00			
19:00 ~ 19:30			夕食・SHR・演説
12限 19:30 ~ 20:15			授業時間帯
20:20 ~ 21:05			

※所属する部以外の授業は他部履修の時間帯で選択することができます。

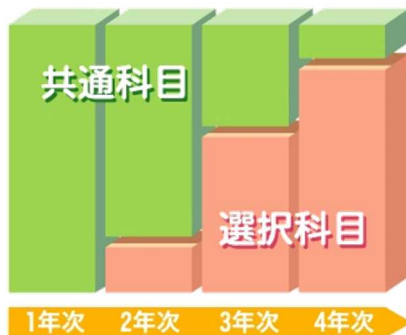
船橋高校

県内初の定時制総合学科に

県立船橋高校定時制の課程は、令和4年度より行徳高校定時制の課程と統合し、普通科を総合学科に改編します。総合学科では、普通科目に加えて、職業選択に関わるような専門的な科目を選択することができます。1・2年次では「学び直し」の授業を含む共通科目を中心に学び、3・4年次では共通科目、一般科目に加えて「健康・生活系列」「教養・ビジネス系列」のうちから自分の興味や将来の進路に適した科目を選択することができます。



科目選択のイメージ



お問い合わせ先: 企画管理部教育政策課高校改革推進室 電話: 043-223-4026

産業教育フェア・特支ものづくりフェア

職業に関する専門の高校や特別支援学校に学ぶ生徒が、作品や実演などにより学習内容を発表し、産業教育の魅力をお伝えする展示会を開催します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は県内の産業系高等学校・特別支援学校の活動状況や学科紹介の発表のみとなりますが、専門的な学習内容を分かりやすく紹介します。

この機会に、県内の産業教育関係高等学校および特別支援学校に触れてみてください。

見て・触れて、
体験しよう！

生徒実習作品・
学科紹介などの
パネル展示
映像放映

日 時：令和3年10月24日（日）
10：00～15：00
会 場：Qiball（きぼーる）
アトリウム ※入場無料
千葉市中央区中央4-5-1
（JR千葉駅から徒歩15分／
京成千葉中央駅から徒歩5分）

**令和3年度
千葉県高等学校産業教育フェア
千葉県特別支援学校ものづくりフェア**

商業 看護 福祉 水産 家庭 工業 農業 情報 総合

・専門の高校・特別支援学校って
どんなところ？

ポスター作成者
千葉県立佐倉高等学校
御臨園理科2年 高木、彩名さん

令和3年10月24日（日）
10：00～15：00【展示など】
会場 Qiball [きぼーる] (千葉市中央区中央4-5-1)
※入場の際に、健康チェックシートの記入をお願いします

主催：千葉県高等学校産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア実行委員会
後援：千葉県産業教育振興協会／千葉県教育委員会／千葉市教育委員会
問い合わせ先：千葉県立京葉工業高等学校内
「千葉県高等学校産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア事務局」
TEL043(251)4197 FAX043(251)9717

・JR千葉駅より徒歩15分
・京成千葉中央駅より徒歩5分
・千葉駅モノレール錦川公園駅より徒歩4分

参加団体：県内産業系高等学校（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉・情報・総合学科）、
県内特別支援学校

お問い合わせ先

千葉県立京葉工業高等学校内

「千葉県高等学校産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア事務局」

Tel 043(251)4197 Fax 043(251)9717

令和3年度

中学生・高校生との交流会

中学生や高校生が日頃、学校や日常生活の中で考えている事柄や問題を、オンラインや書面で意見交換を行う「中学生・高校生との交流会」を各教育事務所単位で開催しました（5つの会場で対面による開催を予定していましたが、緊急事態宣言のため変更になりました）。

1 会場等

教育事務所	実施方法	参加校	開催日
葛南	オンライン	県立八千代高校、八千代市立中学校3校（勝田台中学校、村上中学校、村上東中学校）	7月27日（火）
南房総	オンライン	県立市原八幡高等学校、市原市立八幡東中学校	8月2日（月）
東葛飾	書面交換	県立鎌ヶ谷高校、県立鎌ヶ谷西高校、鎌ヶ谷市立中学校5校（鎌ヶ谷中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校）	9月
東上総	書面交換	県立東金高校、東金市立中学校4校（東金中学校、東中学校、西中学校、北中学校）	9月
北総（印旛）	書面交換	県立印旛明誠高校、印西市立中学校9校（印西中学校、船穂中学校、木刈中学校、小林中学校、原山中学校、西の原中学校、印旛中学校、本埜中学校、滝野中学校）	9月
北総（香取）	書面交換	県立小見川高校、香取市立中学校3校（小見川中学校、山田中学校、栗源中学校）、東庄町立東庄中学校	9月

2 今年度の主なテーマ

- 学校の授業でスマートフォンやタブレットPCが自由に使えるようになったらどのようなことができるか。
- 学校・家庭・地域が一体となり、地域をより活性化させるためにできることは何か。



葛南教育事務所によるオンライン交流（八千代高校）

3 交流会の特徴

- 葛南教育事務所および南房総教育事務所では、オンラインでの交流会を行いました。高校生が進行を担当し、中学生と高校生のグループ討議に県教育委員会職員も参加しました。
- 県教育委員会への提案となる事項については、その対応等については、今後関係課で検討していきます。



南房総教育事務所によるオンライン交流

中学生・高校生との交流会 意見交換の概要・提案事項

葛南教育事務所

「学校・家庭・地域が一体となり、地域をより活性化させるためにできることは何か」

- ・さまざまな年代の方とかがわるイベントを行う。
 - ・地域探索などを通じて地元への理解を深める。
- 「学校の授業でスマートフォンやタブレットPCが自由に使えるようになったらどのようなことができるか」
- ・自分に合う勉強が進められる。
 - ・これまでになかった学習の機会が得られる。

南房総教育事務所

「学校の授業でスマートフォンやタブレット PCが自由に使えるようになったらどのようなことができるか」

- ・動画や写真等の撮影が可能になり、発表や課題提出に用いることができる。
 - ・タブレットをノート代わりに使うことができる。
- 「風水害に対して中高生ができることは何か」
- ・中高生が防災についての知識を得るために、合同訓練やボランティア活動に参加する。

東葛飾教育事務所

「偏見・差別をなくしていくためには必要なこと、できることは何か」

- ・偏見や差別を受けてしまった人の話を聞き、差別を受けた人の気持ちを知る。
 - ・「その人の良いところ」を探す。
- 「学校の授業でスマートフォンやタブレットPCが自由に使えるようになったらどのようなことができるか」
- ・オンライン会議アプリ等を使えば、国内外問わず様々な人と交流がしやすくなり、様々な視点から意見を聞くことで、自らの考えを深めることができる。

東上総教育事務所

「学校・家庭・地域が一体となり、地域をより活性化させるためにできることは何か」

- ・学校の文化祭を地域と共同企画する。
 - ・地域商店等に協力を仰ぎ、ウォークラリー形式の地域清掃活動を行う。
- 「学校で1人1台PC・タブレットが実現したら、どのように活用したいか」
- ・外国語教育や国際交流に活用したい。
 - ・授業後に、授業内容のまとめをメールで配信する、又は授業の板書をタブレットで撮影して保存する。

北総教育事務所（印旛地区）

「学校の授業でスマートフォンやタブレットPCが自由に使えるようになったらどのようなことができるか」

- ・学校と自宅、クラス間、学校間等をつないだ、リモート授業が可能になる。
- ・意見を共有するときに、共通のファイルに書き込むことで時間短縮できる。
- ・ノート代わりに使うことで、家での復習に活用できる。
- ・グループで調査、発表をするときに、それぞれが調べたことをタブレット上でまとめて発表することができる。

北総教育事務所（香取地区）

「いじめを無くしていくために、必要なこと、できることは何か」

- ・いじめにあった人、そして周りの人も見て見ぬふりをせず、すぐに信頼できる人に相談する。
- 「学校の授業でスマートフォンやタブレットPCが自由に使えるようになったらどのようなことができるか」
- ・撮影した写真などをすぐにレポートに取り込むことができたり、発表がよりわかりやすいものになったりする。
 - ・実技などの手本の動画を繰り返し見ることができ、理解が深まる。

<中学生・高校生から出された意見・提案全体>

- ・PCの使い方がよくわからないので、学校で講習会を開いてほしい。
- ・高校生にもタブレットを配付してほしい。
- ・1人1台PCの導入を機に、広く自由な学びの実現のためのカリキュラムを作ってほしい。
- ・年に1回以上、いじめに関する講習（いじめられた人の講話など）を行ってほしい。
- ・各中学校、高校の代表が地域のことについて話し合ったり、意見を出し合ったりする場を作ってほしい（「子ども議会」のようなもの）。

お問い合わせ先：教育庁企画管理部教育政策課 電話：043-223-4177

県立印旛特別支援学校

～「近隣の大学と連携した、校内で取り組む自然体験活動
～大学生との交流及び共同学習とともに～」

本校は印西市の南東、印旛沼に囲まれた自然豊かな環境にあり、知的障害を有する小・中・高等部の児童生徒が通っています。平成24年度には、県立佐倉南高等学校内にさくら分校(高等部普通科職業コース)を開設した、全校児童生徒282名(令和2年度)の学校です。今回の「魅力ある県立学校づくり大賞」優秀賞受賞にあたり、校内で取り組む自然体験活動を紹介します。

1 具体的な活動

- 本格的な自然体験活動を経験するため、学校の敷地内にシェードやテント、テーブル等を設営し、単元期間中(約2週間)常設。火起こし、薪割り、竹箸作り、フィールドビンゴ、ダッチオーブンでの野外調理などの活動に取り組みました。
- 順天堂大学スポーツ健康科学部の野外教育研究室(中丸信吾助教:現日本女子体育大学)と連携し、専門家の見地を取り入れた活動計画を共同で作成しました。単元期間中は毎日数名の大学生が来校し、大学生が火起こしや竹箸作り等のレクチャーを行うことで、お互いの交流も深まりました。
- 生徒からは、活動や大学生との交流を楽しみにする期待の声が多く聞かれました。また、保護者や大学生からも、「貴重な体験等が家庭の会話の話題となっている」、「本校生徒との交流により学生生活がより充実している」などの声が寄せられました。



2 成果

- 知的に障害のある生徒が、「パチパチと音がする」等の言葉や、匂いを嗅ぐ、煙に目をつむるなど、五感でさまざまな変化を感じ、日常生活や家庭では経験しにくい実感を伴った理解を育むことができました。
- 大学生と毎日交流し共同学習に取り組むことで、難しい活動やできなかったことに対して、自分や仲間たちと解決しようとする行動や変化が見られました。
- 徒歩圏内にある大学を訪問し、代表生徒6名が大学生約80名にテント設営や野外調理等の活動について紹介する交流会を実施しました。

3 今後に向けて

- 生徒の興味・関心のある授業づくりに創意工夫していくとともに、大学との連携や大学生の交流をより深めていきたいと考えています。
- ユネスコスクールとしてESD(持続可能な社会づくりの担い手を育む教育)やSDGs(持続可能な開発目標)の理念を基に、持続可能な社会実現のための学習、コミュニケーション能力向上、地域との交流等の広がりを目指し、取り組みを広く発信していきます。

千葉県・千葉市 不登校サポートセミナー

～ 子どもへの理解を深め、よりよい関わり方を考えるきっかけに ～

◇日時： 令和3年11月6日(土) <受付> 午前9時15～午前9時45分

◇会場： 千葉県総合教育センター 大ホール他

◇対象： 県内の不登校児童生徒、保護者及び支援に携わる方 等

◇参加費： 無料

◇定員： 120人(申込先着順)



内容

第1部 講演等(午前9時50分～正午)

(1) 「フリースクールについて」(午前9時50分～午前10時5分)

千葉県フリースクール等ネットワーク 代表 まえきた うみ 前北海氏

(2) 講演(午前10時5分～午前11時45分)

演題：「子ども理解とつながりと」

講師：やまびこ心理教育研究所 所長 こしば たかこ 小柴孝子氏

第2部 個別相談等(午後0時15分～)

(1) 子どもと親のサポートセンター所員・相談員による個別相談

※「相談員」：保護者として不登校の子どもを育てた経験者。

※要予約：申込み時に予約が必要です。相談は約30分程度。

時間はこちらで指定させていただきます。予約状況によっては当日も受け付けます。

(2) フリースクールの紹介ブース ※事前予約不要

(3) フリースクールによる親の会座談会(①午後1時～②午後2時10分～)

※事前予約不要

申込み・その他

◇申込み：電話(平日 午前8時30分～午後5時)またはホームページから。

※「第2部(1)個別相談」は事前予約が必要です。

◇締切日：10月29日(金)…定員超過により申込みを受け付けられない場合のみ連絡します。

◇緊急時における中止の場合は、前日の午後5時までにホームページに掲載します。

◇昼食の時間は設けておりません。各自で適宜おとりください。

◇当日は検温してからお越しください。発熱や風邪症状がある場合は参加できません。

◇参加の際はマスクの着用をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催の中止や実施方法の変更を行う場合があります。変更の際には、当センターホームページにてお知らせいたします。

お問い合わせ先：千葉県子どもと親のサポートセンター 支援事業部

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台5-10-2

電話 043-207-6028

子どもと親のサポートセンター

検索



認知症への理解を深めよう！！ ～県立図書館の取り組み～

国際アルツハイマー病協会は、1994年に世界保健機関と共同で毎年9月を「世界アルツハイマー月間」、9月21日を「世界アルツハイマーデー」、と定め、認知症に関するさまざまな啓蒙活動を行っています。東部図書館と西部図書館では、この月間に合わせ、認知症への理解を県民の皆さまに深めてもらうために、資料の展示や公式Twitterなどを通して情報発信を行いました。

◆「はつらつライフなび」コーナーで発信！ 東部図書館

「はつらつライフなび」コーナーでは、シニア世代の方の暮らしに役立つ情報を提供しています。

認知症の方だけでなく、ご家族など認知症の情報や理解が必要な方にも役立つ資料を集めました。例えば、図書館を利用して認知症を予防する方法を解説した本、認知症の人やその家族が気軽に語ることができる「認知症カフェ」を紹介したハンドブック、脳を活性化させる食事法や運動法を紹介した本、高齢者と歌って楽しめる音楽療法のための名曲集などを紹介しました。

興味のある方は、下記ホームページのお知らせ「テーマ資料一覧」から『アルツハイマー月間』の展示リストをご覧ください。

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/east/_2021.html

また、調べ方案内(パスファインダー)の「認知症について調べる」も併せてご覧ください。

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/reference/pathfinder/pf_ninchisho.pdf



◆SNSで連日発信！ 西部図書館

認知症に関する資料の紹介を公式Twitterに連日投稿。紹介した資料は、当事者や家族・支援者の手記、認知症について学べる児童書や絵本、コミュニケーションに関するものなど、手に取りやすいものを中心に選びました。

紹介文のまとめページを作成し、関連機関のホームページにリンク。下記ホームページで公開しています。館内展示も併せて行いました。

資料は市町村の図書館・図書室を通して利用することができます。

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/west/post_143.htm



県立図書館の公式Twitterは、こちら ⇒ https://twitter.com/chibaken_lib

展示のお知らせやイベント案内、作成物の案内などを発信しています。

県立図書館ホームページからも見られます。

右のQRコードから、県立図書館の郵送による資料貸出券発行ページに入れます。



お問い合わせ先：教育庁教育振興部生涯学習課 電話：043-223-4071

令和3年度 千葉県指定有形文化財(建造物)

千葉県立安房南高等学校 旧第一校舎 オンライン講演会・写真パネル展を開催します！

千葉県教育委員会では、昭和初期の和洋折衷の建築技術の粋を集めた女子教育の殿堂、千葉県立安房南高等学校旧第一校舎（千葉県指定有形文化財）の魅力をお伝えするオンライン講演会と写真パネル展を開催します。

オンライン講演会は現地からの生配信で、建築家の^{なつめかつや}夏目勝也氏が、木造校舎の魅力を語ります。写真パネル展では、館山の地を長年彩ってきた校舎の華やかな魅力を捉えた写真を解説パネルとともに紹介します。



「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」は、昭和5（1930）年に日本と西洋の建築技法を融合させ建てられました。左右対称に大きく翼を広げたようなデザインを特徴とする木造校舎です。昭和初期の学校建築の姿を今に伝える建造物として、平成7（1995）年に千葉県指定有形文化財に指定されました。

◆オンライン講演会「旧安房南高校木造校舎の魅力」

日時 令和3年11月3日（水・祝）午後1時～午後2時30分

講師 夏目勝也氏（建築家）

視聴方法 右のQRコードまたはNPO法人安房文化遺産フォーラムのホームページからお申し込みください。当日利用するZOOMのアドレスとパスワードを後日メールでお知らせします。

URL：<https://awa-ecom.jp/bunka-isan/> 【締切：11月1日（月）】

参加費 無料

現地から
生配信！



◆写真パネル展

館山会場

日時 10月30日（土）～11月7日（日）午前10時～午後4時 ※月曜休館

場所 千葉県南総文化ホールギャラリー 館山市北条740-1

入場料 無料

鋸南会場

日時 11月20日（土）～11月28日（日）午前9時～午後5時 ※月曜休館

場所 道の駅きよなん案内所ギャラリー 安房郡鋸南町吉浜517-1

入場料 無料

<お問い合わせ先>教育庁教育振興部文化財課 電話043-223-4130